

2016
6

かながわの交通



交通安全年間スローガン一般部門（A）

(全日本交通安全協会会長賞：佳作)

夕暮れ時 お互い知らせる ライトオン



つつじ庭園（川崎市宮前区「等覚院」）



自転車はどこを走ったらいいの…？ 教えて！

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(平成28年5月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成28年	11,034	44	13,062
平成27年	11,796	70	13,982
増減数	-762	-26	-920
増減率	-6.5	-37.1	-6.6

	総 数	男	女
県 人 口	9,143,693	4,565,106	4,578,587
免 許 人 口	5,615,095	3,233,478	2,381,617
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成28年5月1日、免許人口は平成28年4月末現在)



「第47回二輪車安全運転神奈川県大会」開催結果

去る6月4日(土)神奈川県自動車運転免許試験場において、これまで最多の90人が参加して、「第47回二輪車安全運転神奈川県大会」が盛大に開催されました。

開会式では、本大会西村副会長、県警察本部小田交通部長の挨拶、主任審判員による競技説明に続いて、昨年の県大会女性クラスで優勝した柏由美選手が「日頃の安全運転技術を発揮します」などと選手宣誓を行った後、A、B、C(高校生等)、女性の各クラスに分かれて、法規履行走行とコーナーリングやブロックスネークなどを課題とする技能走行を競いました。



(競技の模様)

各選手は、少しでも上位に入り、三重県鈴鹿市で開催される全国大会出場の権利を獲得しようと練習してきた運転技術を披露し、家族や友人の声援に応えていました。

競技の結果、各クラス優勝者の中で最高成績を収めた個人総合優勝者には、

Aクラス **藤井峰夫** 選手



が輝きました。

8月6、7の両日に開催される「第49回二輪車安全運転全国大会」には、今大会各クラス上位選手に特別訓練を行い、選考の上代表者を派遣することとしています。

各クラスごとの入賞者は次のとおりです。 (敬称略)

● Aクラス

(50CC以上400CC未満)

- ・優勝 藤井峰夫
- ・第2位 虹川祐志
- ・第3位 芦田伸一郎

● Bクラス

(400CC以上)

- ・優勝 石見光隆
- ・第2位 佐藤正章
- ・第3位 田中要

● Cクラス

(原付50CC未満 20歳未満)

- ・優勝 菊田宣親
- ・第2位 長塚伶也



● 女性クラス

(原付50CC未満)

- ・優勝 加藤由貴子
- ・第2位 柏由美子

第47回二輪車安全運転神奈川県大会



(右からA、B、C、女性クラスの優勝者)



● ● ● 優良二輪車安全運転指導員表彰 ● ● ●

第47回二輪車安全運転神奈川県大会の当日、開会式の前に、長年にわたり二輪車安全運転の指導員として、二輪車の交通事故防止に貢献された二輪車安全運転特別指導員の田所暁仁さんと同指導員の豊福洋子さんに、(一財)全日本交通安全協会からの楯と記念品、神奈川県二輪車普及安全協会からの記念品を伝達しました。



(エアバッグ実演)

二輪車用エアバッグ実演

県内の交通死亡事故が減少する中、二輪車乗車中の死亡事故が多発しているため、大会当日、(一社)日本自動車連盟神奈川支部の協力により、会場の一角に交通安全コーナーを設け、運転適性検査や二輪車用エアバッグの展開・実演などを行い、併せてヘルメットの着装、プロテクターの着用を徹底して交通事故を防止するよう呼びかけました。

県内の交通事故死者数

過去最少

- 5月中の死者数 8人(過去最少タイ)
- 1~5月の合計死者数 44人

九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間の結果

平成28年5月1日(日)から31日(火)までの1ヶ月間、「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」を実施しました。月間に、今年度「自転車交通事故多発地域」に指定された21市区町村等県内各地区において、チリリンクスクールを開催したり、昨年6月から施行された「自転車運転者講習」対象の危険行為を周知しました。また「スマホを見ながらの運転」や「危険な歩道通行」など、自転車利用者の交通マナーが低下していることから、高校生などに参加を呼びかけて高校の正門や自転車通行の多い街頭においてチラシを配布しながら、キャンペーンを実施した。

自転車マナーアップキャンペーン



(相模原北交通安全協会)



(津久井交通安全協会)

● 県内の自転車交通事故発生概況(5月末)

	自 転 車 事 故		
	発 生 件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成28年	2,332件	5人	2,306人
平成27年	2,622件	6人	2,559人
増減数(率)	-290件(-11.1%)	-1人(-16.7%)	-253人(-9.9%)
構成率	21.1%	11.4%	17.7%



※ 構成率は、平成28年交通事故累計(概数)に占める自転車事故の割合を示す。

新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

秦野市交通安全協会 菅家 九二清 事務長

小田原警察署を最後に定年退職し、4月から事務長としてお世話になっております菅家(かんけ)と申します。秦野警察署には卒配後7年、警部補昇任異動で2年、計9年間勤務しました。主に交通部で仕事をしましたので、その経験を活かして前事務長や安協役員、交通指導員のご指導をいただき、関係機関・団体と連携しながら協力を得て、新米事務長として市民を悲惨な交通事故から守り、安全・安心で住み良い秦野を目指していきたいと思います。



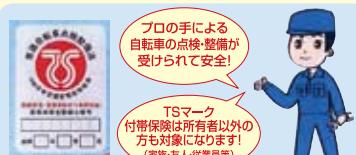
出身は、福島県会津地方で、秦野市尾尻に妻と子供二人で暮らしています。

趣味は家庭菜園で、中井町に300坪の農地を借りて野菜を栽培し、ほとんど自家消費ですが、農作業に奮闘しています。

TSマークを貼ろう

TSマーク+安全運転
↓

安心な自転車ライフを



赤色TSマーク付帯保険の補償内容と支払い対象

補 償 内 容	傷 害 捕 償	賠 償 責 業 捕 償	被 害 者 見 舞 金
	<ul style="list-style-type: none"> ●死亡 ●重度後遺障害(1~4級) ●入院加療15日以上の傷害 <p>一律 100万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●死亡 ●重度後遺障害(1~7級) <p>限度額 5,000万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●入院加療15日以上の傷害 <p>一律 10万円</p>

点検・整備はこのマークの自転車店で!!



- ・賠償責任の当事者は搭乗者の本人のほか、本人に代わって賠償責任を負う親権者、雇用主が含まれます。
- ・搭乗中の人には、自転車の所有者である必要はありません。
- ・借りて搭乗していた方も適用になります。
- ・搭乗中とは、自転車から降りて押して歩いている場合も含まれます。
- ・事故は、道路上で起きたものに限られません。

交通安全こども自転車神奈川県大会への取り組み

秦野市交通安全協会 前事務長 小林 重男

秦野市交通安全協会では、昭和55年3月に市内大槻に「交通公園」が新設されたことから、児童等の自転車事故を防止するため、市内10小学校が参加する「秦野市こども自転車大会」を秦野市と共に催し、現在までに19回の地区大会を実施しています。



自転車教室(交通公園)

当時は、子どもの自転車事故が多発、父兄等の問題意識も高く、学校と市、警察、交通安全協会が協力して実施したため、各小学校がこぞって大会に参加、熱戦が展開されました。

神奈川県大会には、昭和62年の第18回大会から出場し、そのとき本町小学校チームが初参加で団体3位に入賞する好成績を残しました。この県大会から現在まで連続出場していますが、そのときの団体3位、個人2位がベスト成績となっています。

当協会でも、県大会に出場する小学校の選出には苦慮しているところですが、3年前から市教育委員会の協力により、小学校校長会において名乗り出で

いただくこととし、県大

会2ヶ月前に市、警察、協会が練習日程等の打合せを行うこととしています。交通指導員を退任した元指導員の2名を会長名で特別指導員に任命して、練習日には、交通指導員、協会支部役員、母の会役員等10名以上の協力をいただき、出場校の協力を得て、6月中に週2~3回の練習日を設けて体育館内にコースをセットします。協会としては、練習日の飲物、有事に備えた傷害保険加入、ユニホームの選定、大会当日のバス手配等に奔走することになります。

練習当初は、安全走行もおぼつかない児童もありますが、回を重ねるごとに真剣な表情でさっそうと走行する児童の姿に、学校関係者から「他の児童たちの刺激になります。」などと賞賛されるようになり、支援する当協会としても関係者に感謝する次第です。

現在、自転車の交通安全教育は、小学校3年生から「自転車の正しい乗り方教室」として行っているところで、大会出場についても、教職員の業務環境の変化や児童の塾通い、クラブ活動への参加など厳しい状況もありますが、今後も、秦野市内の児童が自転車事故に遭わないよう、大会出場とその訓練などを通じて安全教育に取り組んでいきたいと考えております。



平成27年県大会南が丘小学校チーム

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰

受賞おめでとうございます(敬称略)

● 交通安全功労者(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

小澤秀行、岩村芳彦(南)野口一平(伊勢佐木)安田譲、井上庄二郎(鶴見)中山徹(保土ヶ谷)磯部敏夫(港北)三ツ橋耕三、渋谷裕孝(青葉)鈴木昇(都筑)石渡勝莫(戸塚)八巻裕仁(泉)石垣正吉(多摩)和田弘(横須賀)中島章一(葉山町)齋藤正男(逗子市)野村修平(鎌倉)近藤桂子(大船)長谷川三郎、田中裕子(藤沢北)古木隆充(小田原)高橋佳信(足柄)野沢正男(秦野市)飯塚武彦(伊勢原)藤井治政(相模原)

※ 配偶者には関東交通安全協会連合会会長から感謝状が贈呈されます。

● 優良交通安全協会(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

- 加賀町交通安全協会 (会長 杉島和三郎)
- 川崎交通安全協会 (会長 關 進)
- 平塚市交通安全協会 (会長 中村晃久)
- 相模原交通安全協会 (会長 井上政市)

● 交通安全協会優良職員(関東交通安全協会連合会会長表彰)

瀬川孝子(川崎市)白田愛子(鶴見)浦元速雄(川崎)高橋登志美(藤沢北)小林重男(秦野市)藤田弘子、寺内美佐、原田友香理、松下純子(県安協)



交通事故の悲劇に学ぶ③

●「人としての償い」 N・K会社員(18歳)

私は交通犯罪を犯し、1人の大切な命を奪ってしまいました。そして今、市原刑務所で受刑生活を送っています。

当時の私は、身勝手で自分が楽しければそれでいいといった態度で運転し、交通ルールはもちろん、社会のルールも守っていないような人間でした。そんな私が今回の事故を犯したことは、今となって考えてみると、当たり前のことだったとさえ思えてなりません。

事故当日、私は仕事を終え、友人達と遊びに行き自宅へ帰る途中、4人で道路を横断している集団に気付き、ハンドルを切りました。しかし、列の最後尾にいた女性が横断歩道を引き返したところを、自分がひいてしまい、今回の事故を起こしてしまったのです。

この日も、自分の欲を満たしたい為に、スピードを出した挙げ句、無灯火で走行していました。無灯火に関しては、友人から「ライト点いてないぞ。」という声を掛けられていながら、それを無視して走り続けました。そして人をひいていることに気付いていながら、救護をすることもなく、その場を立ち去ろうとしていました。本当に最低の人間だったと思います。

結局、友人に「戻れ。」と声を掛けてもらい、我に返った私は現場に戻り、その場に居た警察官に自首しましたが、なぜすぐに止まらなかったのか、本当に後悔しています。そして、そのまま現行犯で逮捕され、警察署まで連行されることになったのですが、友人の泣き叫ぶ声とともに手錠をかけられ、パトカーに乗りこみ、自分のしてしまった事が大変なことだと気付かされ、ただただひいてしまった被害者の方の命が助かる事を祈るばかりでした。

次の日、留置場で朝を迎える警察の取調べが始まりました。そのとき、被害者の方が亡くなったことを聞かされ、本当に頭の中がまっ暗になりました。取り調べを終え、留置場へ戻ると、なぜ自分が死ななかったのか、自分が死ねば良かったんだと、そのことばかりを考えるようになりました。本当にこの世から消えさりたい気持ちでいっぱいでした。

留置場にいる私に会いに来てくれる人なんていなかった矢先、両親が面会に来てくれました。ただ泣いて謝ることしか出来なかった私に、両親が「一緒に償っていこう。」と言ってくれた時には本当に嬉しくて、救われた気持ちになりました。それから友人も面会に来てくれ、1人じゃないと実感



(イラストは本文とは関係ありません)

し、逃げずに償って行くことを決心することが出来ました。

この市原刑務所で、私は本当の償いとは何か毎日のように考えています。こんな私よりもっと辛い思いをしているご遺族がいることを決して忘れません。また、亡くなってしまった被害者は、私が事故を起こす前まで実の母親の看病を一生懸命していた方で、東日本大震災にも多くの募金を寄付していた本当に心の優しい方でした。趣味はゴルフで、たくさんの友人達に囲まれ、幸せな生活を送っていたと聞いています。それらを全て奪ったのは、私の交通ルールを守らない運転です。責任は本当に重いと思います。

私は、ハンドルを握る責任と重みを事故を犯して気付かされました。今も新聞を見ると、毎日のように交通事故は起きており、無くなることはありません。たくさんの方が亡くなっています。交通事故を無くす為には、一人一人の規範とルールを守るという強い意識が大切だと思います。

私は受刑生活を通して、命はかけがえのない大切なものだと改めて気付かされました。亡くなられた被害者、ご遺族の方々、被害者に関わられた皆様申し訳ありませんでした。

最後に私はこの罪を一生かけて償っていく覚悟です。本当に申し訳ございませんでした。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第49集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 神奈川中央交通(株) 平塚市八重咲町
- 日産車体(株) 平塚市天沼
- (株)日産サティオ湘南 平塚市宮松町

身につけた？ ルールとマナーと反射材

【地区交通安全協会新会長紹介(敬称略)】



◎(一財)平塚市
中村 晃久
(平成27年10月27日付)



◎泉
八巻 裕仁
(平成28年5月13日付)



◎座間
片野 恒幸
(平成28年5月19日付)



◎茅ヶ崎地区
長谷川 渡
(平成28年5月23日付)



◎田浦
吉野 英男
(平成28年5月30日付)



◎山手
馬場 正治
(平成28年6月1日付)



◎旭
小磯 守
(平成28年6月2日付)

..... 各地区で交通安全自転車大会

厚木警察署管内、三浦市、金沢、旭の各地区交通安全協会では、7月2日に横浜文化体育館で開催される「第47回交通安全こども・第5回高齢者自転車神奈川県大会」を前に、交通安全自転車大会を開催しました。

市(区)長や警察署長の臨席をいただき、県警察、地元警察署交通課、各自治体等の指導、協力により役員、交通指導員等が分担して学科テスト、実技テストを行いました。厚木警察署管内では、昨年9月頃から開始した訓練の成果を見極めるため、県大会を想定した学科及び実技(安全走行、技能走行)テストを行い、県大会出場候補選手の選抜とレベルアップを確認。三浦市では採点時間を利用して母の会による交通安全紙芝居をしたり、交通安全クイズラリー、自転車交通安全教室を開催。金沢では4人の小学生と保護者1人、高齢者1人の計6人一組のチーム編成で、採点の合間にトラックでの巻き込み衝突実験、運転席からの死角確認などを実施。旭では毎年2ヵ所の会場で開催しましたが、今年は1ヵ所に区内25小学校と高齢者チームが集合して開催。いずれの地区でも大会を通じて交通ルールの遵守とマナーアップによる自転車事故防止を呼びかけました。

- ① 厚木警察署管内交通安全協会
(5/7 : 清水小学校)
交通安全子供自転車競技大会



- ② 三浦市交通安全協会
(5/14 : 潮風アリーナ)
第9回三浦市自転車
マナーアップ大会



- ③ 金沢交通安全協会
(5/21 : 金沢地区センター)
第11回金沢区自転車マナー
アップ三世代大会



- ④ 旭交通安全協会
(5/29 : 鶴ヶ峰自動車学校)
旭自転車マナーアップ大会



..... 第18回理事会 ~ 平成27年度事業・決算報告 ~

5月26日、県協会会館において第18回理事会が開催されました。理事会に先立ち、午前に正副会長会議が行われた後、理事、監事17名が出席する中で、「平成27年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成27年度神奈川県交通安全協会決算報告」等について審議され、いずれも原案どおり承認されました。



この人

126



（財）平塚市交通安全協会
会長 中村 晃久さん



昨年10月27日から一般財団法人平塚市交通安全協会会長としてご活躍中の中村晃久さんを紹介します。会長は、昭和12年に福岡県福岡市に生まれ大学を卒業されてから平塚市に居住することとなり、昭和45年に有限会社中村設備を設立しました。その当時は、急激な車社会の訪れとともに交通事故が多発し、交通事故が激増したころで死亡事故が増加したことと、会社経営の傍ら交通安全活動に関心を抱いて、平塚市交通安全協会豊田支部の交通指導員として委嘱を受けました。

毎月の交通安全日や各季の交通安全運動では、指定場所において交通指導や見守り活動を行うほか、全国民が注目するお正月恒例の箱根駅伝大会では、36年もの長い間、選手の走路確保や観衆の交通誘導、事故防止などの交通対策に従事し、

指導員の上級認定を受けて指導力の発揮しました。また、自転車の安全な乗り方の指導にも大変熱心で、昭和55年に自転車安全教育指導員の上級認定を受けて「交通事故ゼロ」「地域の安全」に一層のご尽力をいたしました。この当時は、多発する自転車交通事故の防止対策の一環として「交通安全子供自転車平塚大会」を開催、出場校の訓練指導などを通じて大会を盛り上げ、「交通安全

その円滑な競技の進行に寄与しています。平成19年に指導部長に就任してから市内を行われる「渋田川桜まつり」「緑化まつり」「よさこい祭り」「湘南ひらつか七夕まつり」等各種イベントでは、交通指導員のリーダーとして開催前から終了まで交通対策に従事します。特に七夕まつりは、帰宅が翌日になるなど長時間に渡ってボランティア精神を遺憾なく發揮、地元に貢献してきました。

また、自転車の安全な乗り方の指導にも大変熱心で、昭和55年に自転車安全教育指導員の上級認定を受けて「交通事故ゼロ」「地域の安全」に一層のご尽力をいたしました。この当時は、多発する自転車交通事故の防止対策の一環として「交通安全子供自転車平塚大会」を開催、出場校の訓練指導などを通じて大会を盛り上げ、「交通安全

会も毎年出場し、平成14年には県大会において豊田小学校を団体第2位という結果に導いています。

会長は温厚篤実、品行方正な人柄であり、卓越した指導力に基づくこれまでの数々の活躍・功績が認められて、平成26年には「交通安全章緑十字金賞」を受賞しています。



ここにちは 「青葉交通安全協会」です

青葉区は、北に川崎市、西に東京都町田市、東に港北区、南は緑区と都筑区に隣接しています。横浜市内では港北区に次いで第2位の人口(308,618人)で、増加傾向にあります。免許人口もそれに比例して20万人に迫り、当協会来場者も200人を超える日々です。平均寿命が長く、横浜市内で男性は第1位、女性は第2位の位置にあります。

鉄道網は、青葉区内を東西に延びて東京都心へつながる東急田園都市線、横浜中心部に向かう横浜市営地下鉄線、外周には容易に連絡できる小田急線、JR横浜線、東海道新幹線、東急東横線が走っています。

道路交通網は、東名高速道路が横浜青葉ICを抱えて東西に走り、それと並行するように国道246号線、こ

れを横断する新横浜元石川線、横浜上麻生線、これらの国線、環状4号線などの主要幹線道路が縦横に走っています。現在、第三京浜の港北ICと東名高速横浜青葉ICを結ぶ「横浜環状北西線」を工事中で、交通の利便性が一段と向上することが予想されます。

人々の住民は、穏やかで人柄の良い方ばかりで、転入居住者も温厚で良識的な方が多く、積極的に自治会活動に取り組むなど地域に溶け込んでいます。交通の利便性もあって、緑園の中に高級住宅も建ち並び芸能人をはじめ著名人も多く居住しており、住みやすい環境の青葉区です。

青葉交通安全協会は、事務局として、事務長以下3名の職員と3名のパートタイマーが、親切、丁寧、笑顔と思いやりを持って、ボランティア活動に賛同いただける会員の加入獲得に励んでいます。組織としては、工藤会長

以下120人の役員、8支部で構成されており、青葉警察署の指導のもと、交通安全日の交通誘導、各季の交通安全運動時のキャンペーン等の活動を実施しています。特に高齢者や小さな子供を交通事故から守る運動を中心に取り組み、小学校低学年の歩き方教室、自転車教室、高齢者に対する交通安全教室に重点を置いています。

今後も関係機関団体と連携して地域の交通安全に邁進していきますので、よろしくお願いします。

(宇津木 記)

知らせよう 早めのライト あなたから

地区交通安全協会の活動紹介



栄

自転車商組合の協力を得て、JR本郷駅前に「自転車無料点検」の看板を設置し、通行中の自転車を呼び込みながら自転車マナーアップキャンペーンを実施しました。



川崎

川崎警察署、区交対協と連携し、銀柳商店街において、自転車のルール等説明したりーフレットや反射材を配布しながら自転車事故防止を呼びかけました。



中原

南武線武藏中原駅前駐輪場から出で来る自転車利用者に対し、チラシや反射材を配布しながら自転車事故防止を呼びかけました。



座間

JR入谷駅前において、「マナーアップ、ルールを守る」のぼり旗を掲げ、自転車利用者にチラシを配布しながら自転車マナーアップ運動を周知しました。



相模原南

小田急相模原駅前、サウザンロードにおいて、市や警察署等と連携し、チラシやグッズを配布しながら自転車の交通事故防止を呼びかけました。

自転車マナーアップ運動

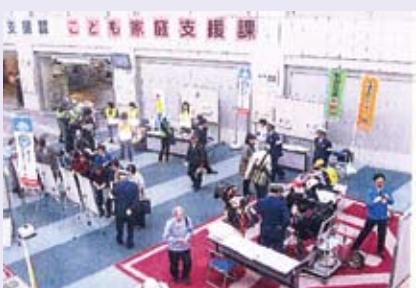
加賀町

元町ショッピングストリートでタレント2人を一日警察署長と日消防署長に委嘱し、啓発物を配布しながら自転車マナーアップキャンペーンを実施しました。



泉

区役所ホールに交通安全コーナーを設け、自転車シミュレータや点灯くんの体験パネルクイズラリーなどを行い、グッズを配布するなど啓発活動を実施しました。



川崎臨港

産業道路観音橋交差点で、自転車店経営の交通指導員や警察官など関係者が整備点検を実施したり、グッズを配布しながら自転車マナーアップ運動を呼びかけました。



須賀

横須賀中央駅前において、通行中の自転車利用者に声をかけ、反射シールを貼り付けたり、グッズを配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



相模原

チリソーデーの日、鹿沼交通公園において、主に自転車の親子連れを対象に自転車の無料点検を行いました。



インフォメーション

- 第47回交通安全こども自転車神奈川県大会及び第5回高齢者交通安全自転車神奈川県大会 — 7月2日(土)横浜文化体育館
- 夏の交通事故防止運動 — 7月11日(月)から20日(水)
- グッドライダーミーティング — 7月18日(月)厚木中央自動車学校
- 表彰審査委員会 — 7月21日(木)県協会会館
- セーフティ・ライダースクール — 7月23日(土)運転免許試験場